

【法蔵館文庫】

女の信心

妻が出家した時代

日本史・仏教

かつうらのりこ
勝浦令子著

▼文庫判・並製カバー！320頁・定価一、五四〇円

2025年7月刊行



古代から中世の婚姻・出産・育児・家事という女性の日常や死と死後の世界に結びついた習俗と信仰から日本人の信仰を明らかにする。

【目次】

序 女の信心史

第一章 ニ削ぎ致 ― 髪型からみた尼の存在形態

- はじめに
- 一 ニ削ぎの宗教的意味
- 二 ニ削ぎの社会的意味
- おわりに

第二章 妻の出家・老女の出家・寡婦の出家

― 古代の事例を中心に

- はじめに
- 一 妻の出家 ― 既婚女性の出家と婚姻関係
- 二 老女の出家 ― 隠退・世捨て・死と出家
- 三 寡婦の出家 ― 貞節・追善と出家
- おわりに

第三章 女性の発心・出家と家族

― 中世後期の事例を中心に

- 一 比丘尼の懺悔
- 二 髪切り・離婚出家
- 三 寡婦の出家と婚姻関係
- 四 家政と出家
- 五 娘の出家と家族
- 六 尼の自由

第四章 古代における母性と仏教

- はじめに
- 一 母性の尊重と仏教
- 二 僧と母
- 三 僧と母の絆
- おわりに

第五章 「洗濯と女」ノート

- 一 なぜ洗濯をするのは女なのか
- 二 僧衣を洗濯する女
- 三 女の仕事と洗濯
- 四 洗う力と女
- おわりに
- 補 血縁について

第六章 女 の 地獄と談義

- 一 法華経談義と女だけの血脈授与
- 二 血盆経信仰への展開

第七章 院政期における夫と妻の共同祈願

- はじめに
- 一 男女名併書の写経・造像銘の考察
- 二 祈願内容の検討
- 三 夫妻の共同祈願の役割
- おわりに

あとがき
初出一覧
文庫版あとがき

◆著者略歴

勝浦令子（かつうら のりこ）

一九五一年京都府生まれ。東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。博士（文学）東京大学。東京女子大学現代教養学部教授を経て、同大学名誉教授。専攻は日本古代史。
著書は『日本古代の僧尼と社会』（吉川弘文館）、『孝謙・称徳天皇（ミネルヴァ書房）、『橘嘉智子』（吉川弘文館）、『日本古代の穢れ観と外来信仰』（塙書房）他。

注文書	
(書店印)	
様冊	ご担当
法蔵館	勝浦令子著
定価 一、五四〇円	女の信心
妻が出家した時代	【法蔵館文庫】
ISBN : 978-4-8318-2703-6 C1121	お名前
お電話	ご住所

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp